

社会福祉士会 リスクマネジメント策について

今回の消費税未払い問題は、財務上の脆弱性を露呈しただけにとどまらず、理事やひいては広島県社会福祉士会の信用の失墜につながりかねない大変大きな事案となった。会の信頼を高め、公益社団法人として運営をおこなっていくにあたり、次のとおり再発防止策を提案する。

1. 財務上の確認の強化

- ・ 公益社団法人の会計を含む法人運営について、業務執行理事等の職に就くものは一定の適切な知識を得ることができるよう研修などに参加する。
- ・ 理事会での会計確認の機会を増やし、専門家からの助言や説明を求める。
- ・ 予算や決算時の理事会に会計士の同席を求める。

2. 理事・監事の情報共有、意見交換をする機会を確保

- ・ 公益社団法人の理事・監事として各々の役割がなんであるか、またどのような視点が必要なのかを認識し、自身の担当部門だけでなく、組織全体を俯瞰してみる体制を構築していく。
- ・ グループウェア等のツールを活用し、役員間の相互コミュニケーションの機会を増やし、だれもが気軽に意見を発信できるよう努める。

3. 組織再編

- ・ 現状の社会福祉士会の体制は、多岐にわたり、事務局ともに業務量も多くなっている。優先順位を決め、会として適切に安定運営できる体制を再構築する。
- ・ 事務局体制の強化を行う。

4. 内部統制とコンプライアンスの遵守

- ・ 監査体制を強化し、定期的に事業の執行状況について確認を行う。
- ・ 疑義の残る事務処理については、監事、監督官庁、その他専門家等に直ちに照会の上、誤りがあれば直ちに修正を行うようにする。
- ・ 公益社団法人の運営に関する諸法令等について常に最新情報を収集し、変更に対応していく。